

2020年7月15日

第 167 委員会 委員各位

日本学術振興会  
ナノプローブテクノロジー第 167 委員会  
委員長 吉村 雅満

## ナノプローブテクノロジー第 167 委員会 第 94 回研究会開催通知

拝啓 時下ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

本委員会の活動に対し、平素からご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、このたび第 94 回研究会を下記の日程で開催する準備を進めております。ご多忙のおりとは存じますが、委員の皆様方にはぜひご出席下さいますようご案内申し上げます。

敬具

### 記

1. 開催日時 : 2020 年 9 月 14 日 (月) 13 時～17 時
2. 開催方式 : Webex を用いた web 会議 (予定)

## ナノプローブテクノロジー第167委員会 第94回研究会プログラム

テーマ：「高分解能先端電子顕微鏡の最前線」（講演題目はすべて仮題）

日時：2020年9月14日（月）13:00～17:00 研究会

開催方式：Webexを用いたweb会議（予定）

今回の研究会は、「高分解能先端電子顕微鏡の最前線」と題して、高分解能顕微鏡法の最先端を俯瞰し、将来を展望するため企画しました。2017年にノーベル化学賞を授賞されたクライオ電子顕微鏡法をはじめ、収差補正二次電子顕微鏡、反応科学超高压電子顕微鏡など、先端的な電子顕微鏡法の進展は著しいものがあります。その多くは新しい理論、検出器等の新規ハードウェア、ビッグデータに対応したデータ科学などを駆使した点に特徴があります。また、実働環境や極限場での走査型プローブ顕微鏡法などの先端ナノ顕微鏡法における進展、特に産業界における取組についてもご紹介いただきます。

### プログラム（質疑応答時間を含む）

13:00 開会挨拶/事務連絡

13:10 - 14:00 「クライオ電子顕微鏡法の技術開発と生命科学への貢献」  
難波 啓一 先生（大阪大学）

14:00 - 14:50 「次世代収差補正二次電子顕微鏡の開発と応用」  
川崎 忠寛 先生（財団法人ファインセラミックスセンター）

14:50 - 15:10 休憩

15:10 - 16:00 「反応科学超高压走査透過電子顕微鏡の最前線」  
武藤 俊介 先生（名古屋大学）

16:00 - 16:50 「国産極限場 STM/AFM の開発」  
宮武 優 先生（株式会社ユニソク）

16:50～17:00 閉会挨拶

	企画委員
物質・材料研究機構	藤田大介
神戸大学	大西 洋
大阪大学	森田清三